

佐賀市史

第三卷

13史誌記

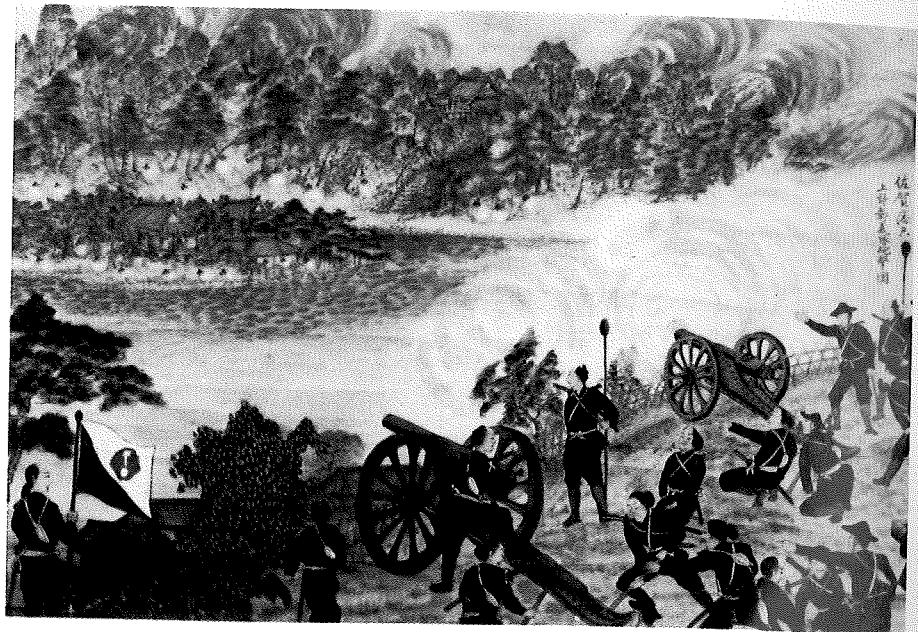
1

情報公開

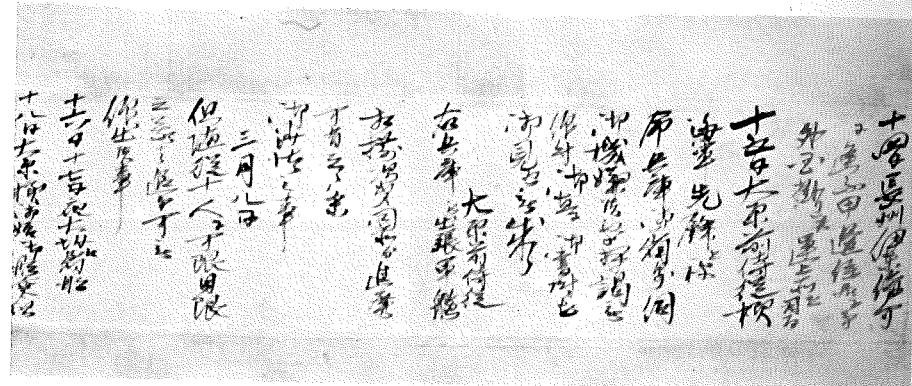




史跡 大隈重信旧宅 (水ヶ江二丁目)



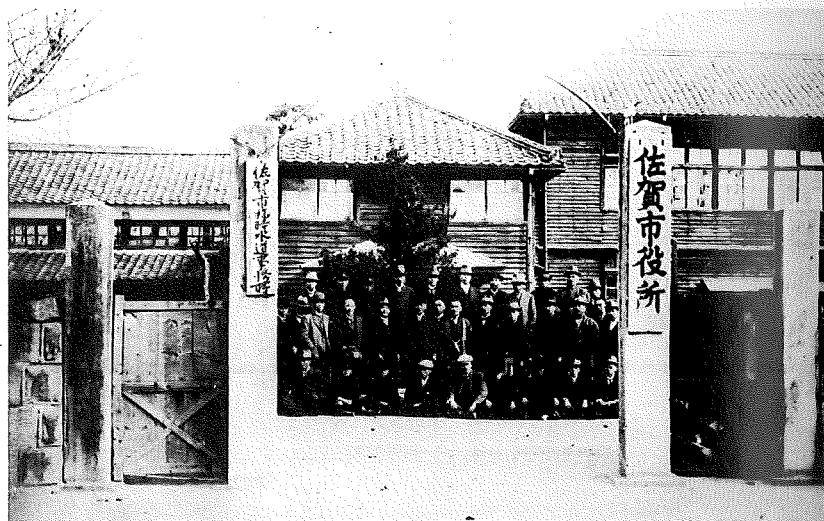
戊辰の役 佐賀藩兵の上野彰義隊砲撃図 (岐阜県笠原町 島内重夫蔵)



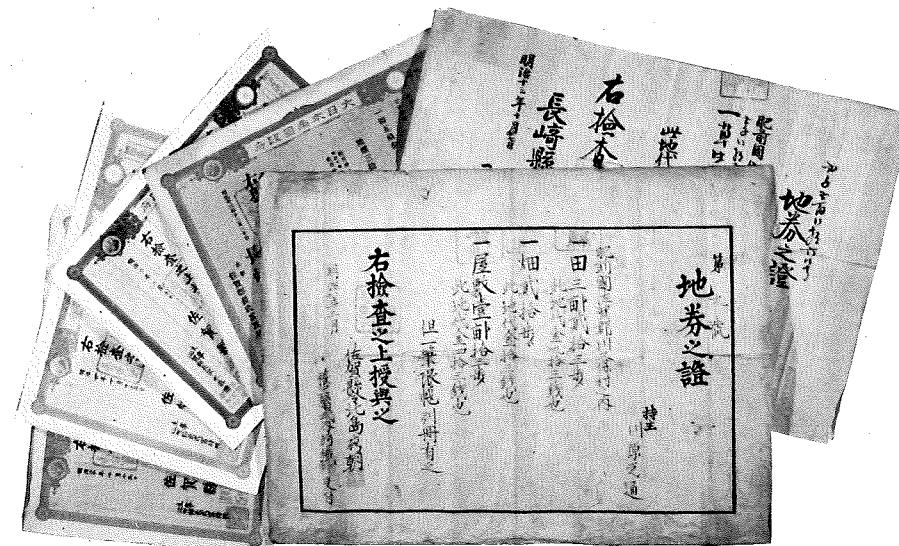
島 義勇の『戊辰日記』 (市重要文化財、多布施二丁目 末安正明蔵)



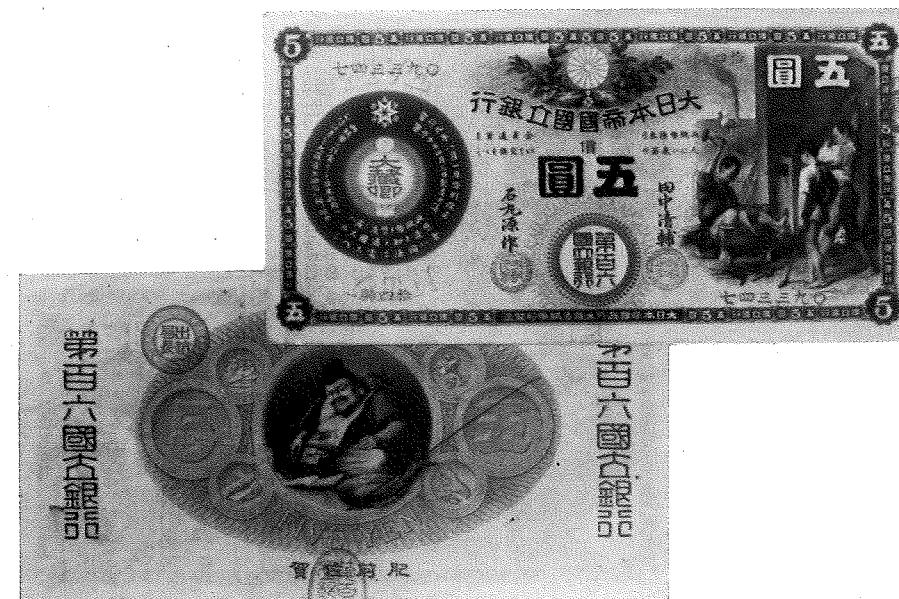
佐賀県庁の図（明治23年出版『佐賀県獨案内』所載）



勧興小学校旧校舎使用の佐賀市役所（大正2年～9年）



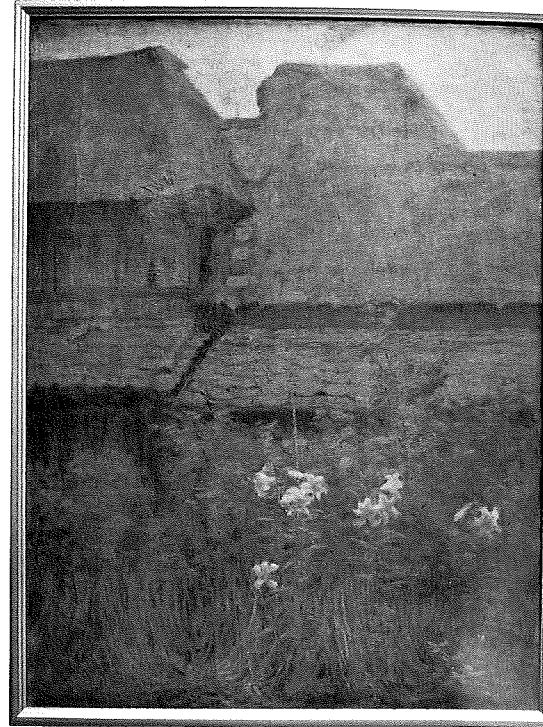
地券の證



佐賀第百六国立銀行の紙幣

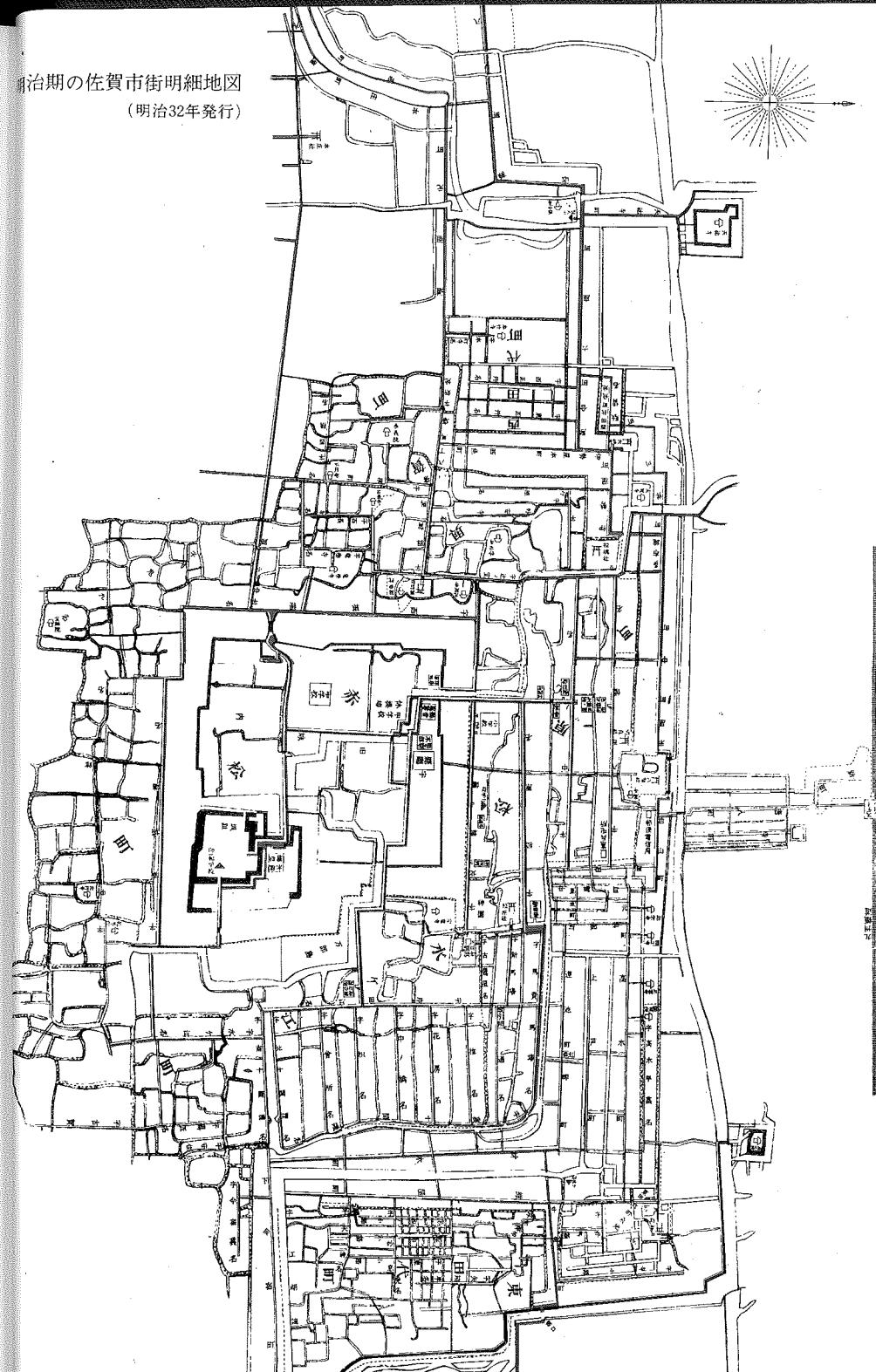


精煉社製 切子細工のガラス花瓶（多布施三丁目 青木正彦蔵）



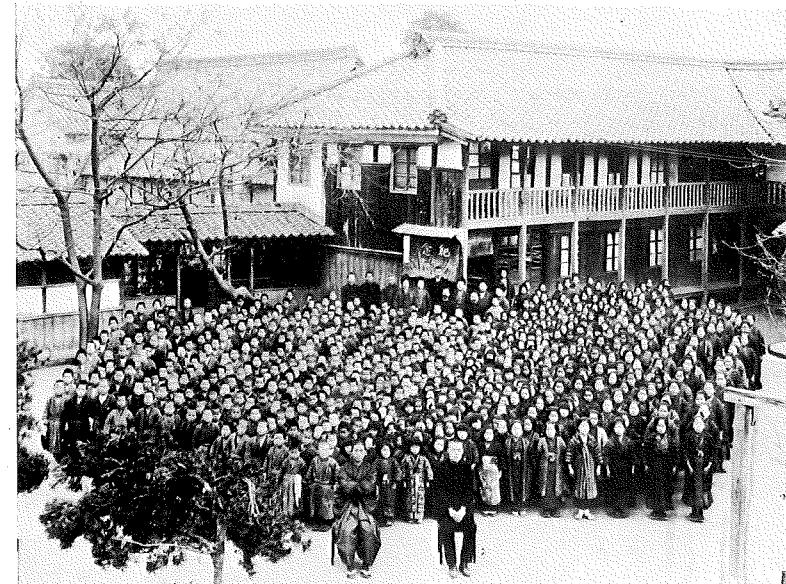
山口亮一の藪屋（文部省展覧会初入選作品 佐賀県立博物館蔵）

明治期の佐賀市街明細地図
(明治32年発行)

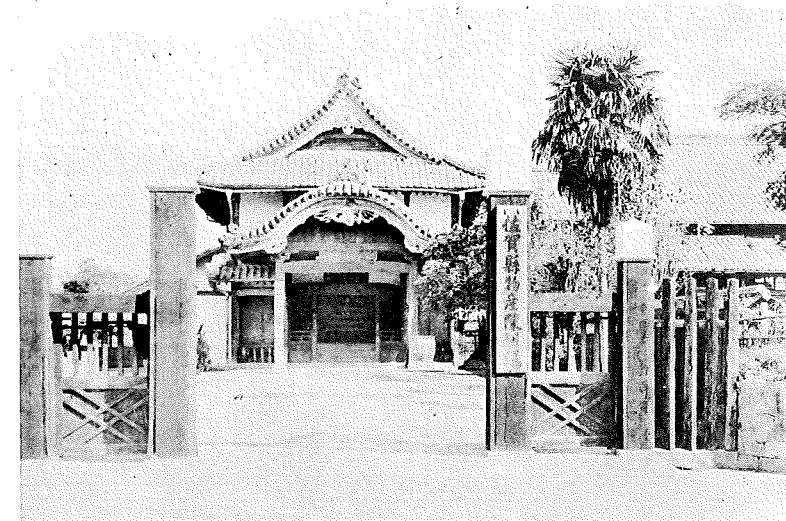


凡 例

- 一 本書は、佐賀市史全五巻のうちの第三巻である。
- 一 この巻の内容は、近代編として明治維新から明治末期まで、いわゆる明治期全般について広く叙述した。
- 一 本巻の叙述にあたっては、佐賀市域のみに限らず、地域的に関連する周辺地域にもいくらか言及した。
- 一 項目の表示は、章・節・項の文字は使用せず、一・(一)・3として区分し、以下区分を必要とする場合は小見出しにした。
- 一 文章はできるだけ平易なものとするため、現代かなづかいにより、漢字も当用漢字を用いた。しかし、固有名詞、歴史的名辞（歴史用語）など特殊なものは原文のままを掲げてふりがなをつけた。
- 一 文中の人名は、文中の引用、参照した編著執筆者名を含めて敬称を省略した。
- 一 一般に数の表記は、日本数字を並べて表わしたが、特殊なものには十・百・千等の単位語を入れた。
- 一 年紀の表現は、日本年号を用い、必要に応じてその下に（）をもつて西暦年を付記した。
- 一 文中に引用する資料のうち、文書・記録類・編さん物などは『』で示し、内容に及ぶ場合は、「」または、改行して一段落して書いた。
- 一 注書は、文書または語句の右下に○に包んで表わし、節に相当する区分ごとに資料・参考文献を掲げた。



明治期の小学校と学童たち（循誘小学校）



明治期の協和館（市役所や物産陳列場にも利用された）

近 代	概 説	一
	一 明治維新	二
(一)	戊辰戦争	三
1	王政復古	四
2	佐賀藩士の出兵 。松原神社二百五十年祭	五
3	島義勇の『戊辰日記』 。西村明喬の『御出勢御供日誌』	六
4	函館戦争	七
	長崎裁判所	八
	版籍奉還	九

佐賀市史（第三巻・明治時代編）目次

題字 佐賀市長 宮田 虎雄

- 一 図表は、節ごとに通し番号を付した。挿絵写真は番号を省略した。
- 一 年表は、この巻に該当する分野を巻末に収録した。

(一) 版籍奉還	四〇
(二) 藩政改革	四一
3 鍋島閑叟の死	四一
(三) 神仏分離令と廢仏毀釈	四一
(四) 廃藩置県	四一
(五) 戸籍法と大小区制	四一
(六) 佐賀の乱	一〇一
1 佐賀の乱	一〇一
2 佐賀の乱後の佐賀地方	一〇一
二 明治前期の教育	一〇〇
(一) 寺子屋教育	一〇〇
(二) 「学制」以前の教育事情	一〇〇
(三) 「学制」の制定	一〇〇
1 「教育興隆」の意見書	一〇〇
2 佐賀市域の小学校とその学区編成	一〇〇
3 学校開設願	一〇〇
4 教科書	一〇〇
5 教師	一〇一
6 試験と賞与	一〇一
7 就学率	一〇一
(四) 好生館医学校	一〇九
三 藩体制の解体と農村	一一一
(一) 藩体制の解体	一一一
(二) 佐賀平野の地租改正	一一一
1 地租改正の一般経過	一一〇
2 加地子地処分の実態	一一〇
3 千町歩地主の実態と意義	一一〇
(三) 士族救済事業	一一〇
1 士族遺金処分願末	一一〇
2 厚生会社の苦闘	一一〇
3 一般士族授産事業	一一〇
(四) 明治初年の農村と農業	一一〇
1 農業生産の景況	一一〇
2 佐賀平野のクリーク網	一一〇

四	明治前期の経済と産業の発達	二九
(一)	明治初期佐賀地域の経済状況	二九
1	職業別構成	二九
2	金禄公債証書の所有者変動状況	三〇
3	商人層の動向	三〇
(二)	小野組と三井資本の進出	三七
1	小野組佐賀出張店開業とその閉鎖	三七
2	三井銀行と三井物産の進出	三三
(三)	佐賀第百六国立銀行と私立銀行の設立	三九
1	佐賀第百六国立銀行の設立	三九
2	鍋島家出納方の銀行類似行為	三九
3	私立銀行の誕生	三九
(四)	明治十年代佐賀地域の経済変化	三七
1	養蚕製糸業の展開	三七
2	佐賀旧城下町の衰微	三九
3	明治十年代後半期の経済変化	三九
五	市制施行と市勢の発展	三七
(一)	郡区町村編制法	三七
(二)	佐賀開進会の成立	三八
。	『山辺生芳日記』より	三八
。	『米倉経夫日記』より	三八
(三)	佐賀県の成立	四〇七
(四)	佐賀市の成立	四〇七
(五)	町村合併	四一三
(六)	初期の市会	四一〇
(七)	国会開設	四一〇
(八)	明治期の市政と社会	四一〇
六	明治中期の交通及び産業の発達	四一〇
(一)	明治二十年代の佐賀地域経済	四一〇
1	経済的様相	四一〇
2	佐賀地域の社会構成	四一〇
(二)	九州鉄道の開通とその影響	四一〇
1	企業活動の展開	四一〇
(四)	米穀市場と佐賀米穀取引所の設立	四一〇

(五) 佐賀商業會議所の創立.....	五七
1 佐賀商業會議所の設立.....	五七
2 商業會議所の主な業務.....	五〇
3 商業會議所事務所の移転.....	五八
七 明治後期の交通及び産業の発達.....	五九
(一) 明治三十年代初期佐賀市郡の経済状況.....	五九
(二) 地場企業の発展.....	五九
1 地場企業.....	五九
2 九州沖縄八県聯合共進会の開催.....	五九
(三) 電力事業の展開.....	五九
1 広瀬水力発電所建設.....	五九
2 九州電気の設立.....	五九
(四) 軽便鉄道の敷設.....	五九
(五) 明治末期佐賀市郡の経済状況.....	五九
八 市民生活の変遷.....	五九
(一) 市街の様相.....	五九
1 佐賀の商店街と商人.....	五九
2 ショッピングの勧工場.....	六〇
(二) 郵便局の設置.....	六四
。郵便 。電信 。為替 。郵便貯金 。郵便電信局	六四
。郵便局取扱い量 。電話	六四
(三) 佐賀地域の新聞企業.....	六九
1 佐賀新聞の創刊.....	六九
2 明治初中期の新聞広告.....	六九
(四) 庶民生活の様相.....	六九
1 佐賀の米価変動状況.....	六九
2 佐賀の労働賃金と物価.....	六九
3 賴母子講・無尽講.....	六九
九 農業の発達と農村.....	六九
(一) 勸農機関の整備.....	六九
1 勸業委員・勸業談話会.....	六九
2 米改良運動の展開.....	六九
3 農業教育・試験研究機関の発足.....	六九
(二) 農業生産の発展.....	六九

1 佐賀農業発展の基本方向.....	卷一
2 米作における佐賀郡市的地位.....	卷二
3 米の品種改良.....	卷三
4 水田裏作.....	卷四
5 畜 産.....	卷五
6 養 蚕.....	卷六
(三) 土地所有関係の変貌.....	卷七
1 佐賀市郡における小作地の増加.....	卷八
2 村落的土地位所有構造の変化(1)——一般的背景——.....	卷九
3 村落的土地位所有構造の変化(2)——佐賀郡の場合——.....	卷十
4 有力地主の系譜と実態.....	卷十一
5 農村生活の断片.....	卷十二
(四) 農業団体の活動.....	卷十三
1 系統農会の成立.....	卷十四
2 産業組合の発展.....	卷十五
3 蝗虫防除と農会.....	卷十六
4 農事指導と農会.....	卷十七

(付)

有明海の水産業

卷十八

1 明治期の概観.....	卷十九
2 養殖漁業.....	卷二十
3 遠洋漁業.....	卷二十一

十 明治後期の教育と文化

(一) 明治後期の小学校教育

卷二十二

1 「学制」以後の教育制度の変化.....	卷二十三
2 佐賀市域の小学校事情.....	卷二十四

(二) 中学校教育

卷二十五

1 教員養成と師範学校.....	卷二十六
2 私学の発達.....	卷二十七

(三) 実業教育の充実

卷二十八

1 佐賀農学校 佐賀工業学校 佐賀商業学校 実業補習教育.....	卷二十九
2 明治前期の概観.....	卷三十

(四) 明治期の文化と学芸

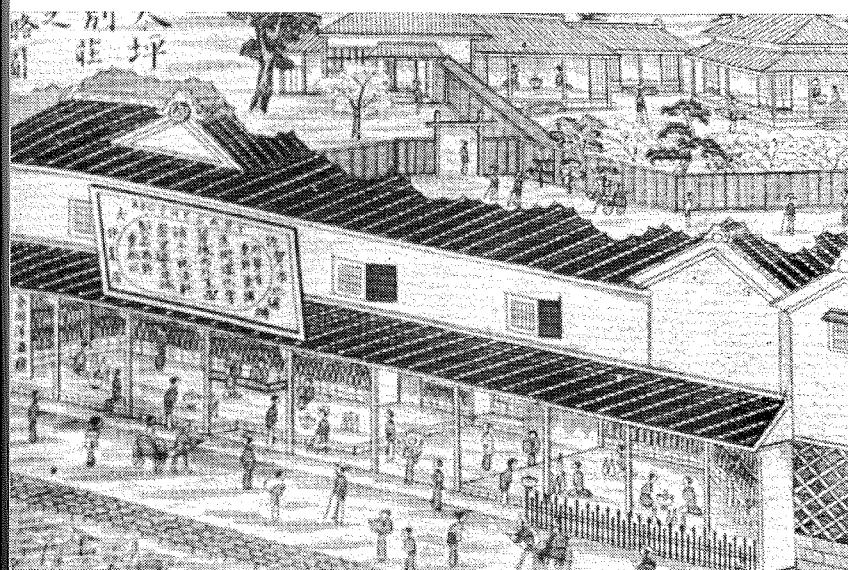
卷三十一

1 明治前期の概観.....	卷三十二
2 佐賀と明治の洋画.....	卷三十三
3 明治後期の佐賀文壇.....	卷三十四

近

代

明治期



明治期の店頭風景の図（明治23年出版『佐賀県獨案内』所載）

近代・明治期

編年
集後記表

八三